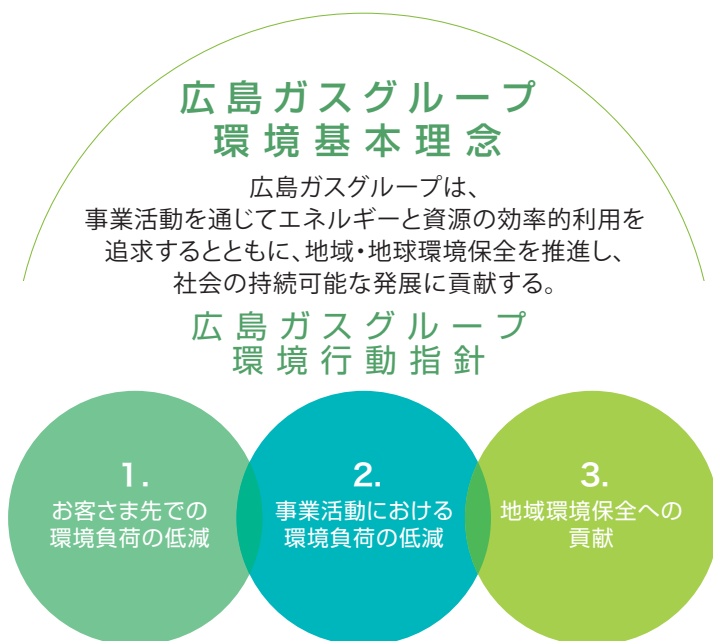


環境分野

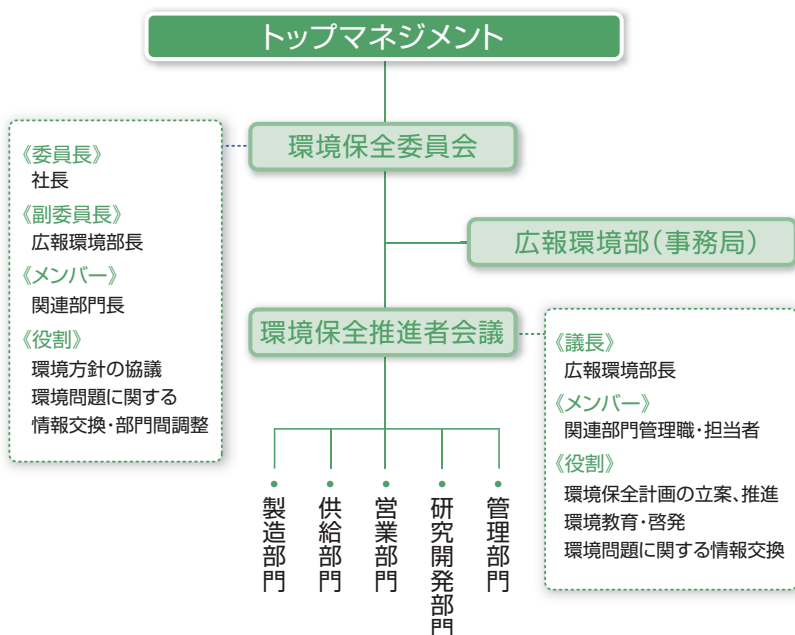
低炭素社会構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進していきます。

環境保全活動の基本的な考え方

広島ガスは、1993年度に環境基本理念および環境行動指針を策定し、環境マネジメントシステム(EMS)により全社で環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で推進することにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。



環境活動推進体制 (2011年6月24日現在)



ISO14001認証取得

廿日市工場は、環境マネジメントシステムの一環として1999年度ISO14001の認証を取得(審査登録機関: 財団法人日本ガス機器検査協会JIA-QAセンター)しました。2001年度には1999年度操業を開始した備後工場が、2009年3月には2006年度操業を開始した東広島製造所においても拡大審査に合格し、当社の都市ガス製造工場全て認証取得が完了しています。



ISO14001登録証・付属書

環境マネジメントシステムの運用

◎PDCAサイクルに沿って環境保全活動をきめ細かく推進しています。

当社の環境マネジメントシステムは、従来から運用しているTQM(総合的品質経営)をベースに、環境保全活動をPDCAサイクルに沿って推進しています。環境保全活動を含めた中期経営計画の策定(P)、各部門改善活動の実施(D)、環境保全委員会等でチェック(C)、トップヒアリングでの見直し(A)等により、継続的なレベルアップをめざしています。



広島ガス長期環境目標(2011-2015年度)

環境保全活動を効果的に推進するために、広島ガスでは環境行動指針に対応した長期環境目標を設定し活動を進めております。2008年度に一部見直しをした現行の長期環境目標は2010年度が最終年度となるため、2011年2月に、2015年度までの新しい長期環境目標を設定しました。

環境行動指針	長期環境目標	単位	最終年度	各年度の目標値				
				2011	2012	2013	2014	2015
1 お客さま先での環境負荷の低減	1-1 お客さま先でのCO ₂ 排出量を、2015年度に20万t-CO ₂ 以上抑制する	千t-CO ₂	200以上	185以上	185以上	190以上	195以上	200以上
	2-1 当事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、2015年度まで50g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)を維持する	g-CO ₂ /m ³	50	50以下	50以下	50以下	50以下	50以下
2 事業活動における環境負荷の低減	2-2 事業所(オフィス)におけるCO ₂ 排出量を、2009年度に比べて2015年度に240t-CO ₂ 以上削減する	削減量 t-CO ₂	▲240以上	▲170	▲200	▲220	▲230	▲240
	2-3 低公害車(天然ガス自動車、低排出認定ガソリン車等)を、2015年度までに当社全車両に導入する	導入割合 %	100	80以上	85以上	90以上	95以上	100
	2-4 産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2015年度まで1t以下を維持する	t	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
	2-5 ガス導管工事から発生する掘削土量を、2015年度まで従来工法に比べ35%以上削減を維持し、再資源化率を85%以上にする	削減率% 再資源化率%	35以上 85以上	35以上 80以上	35以上 80以上	35以上 80以上	35以上 85以上	35以上 85以上
	2-6 2015年度に一般廃棄物の発生を、2001年度に対し50%以上削減し、再資源化率を80%以上にする	削減率% 再資源化率%	50以上 80以上	50以上 65以上	50以上 70以上	50以上 75以上	50以上 78以上	50以上 80以上
3 地域環境保全への貢献	3-1 各事業所において、地域と一体となった環境保全活動を実践する	-	-	-	-	-	-	-